

# I 常設展示

## 1 本館

### (1) 常設展示

江戸東京博物館 5・6 階の常設展示室 (8,934 m<sup>2</sup>) において、定期的な展示替えを計 22 回行ない、常時約 2,000 点の資料を展示するとともに、学芸員の研究成果を反映させた企画展や常設展示各コーナーで開催する特集展示を実施した。また、常設展の賑わい・楽しさを演出した「えどはく寄席」、テーマ性を持って展示解説をする「ミュージアムトーク」を定期的で開催した。外部機関と協力した企画展として、「発掘された日本列島 2012」展（文化庁と共催）、「徳川家康の肖像」展（公益財団法人徳川記念財団と共催）を開催した。

[常設展観覧者実績]

区 分	平成24年度(A)	対前年比(A/B)	平成23年度(B)
一 般	300,090人	103.9%	288,724人
学 生	25,294人	109.0%	23,211人
高校生、都外中学生	61,845人	130.2%	47,487人
65歳以上	88,269人	117.5%	75,116人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動、視察)	295,358人	107.4%	275,028人
合計	770,856人	108.6%	709,566人
開館日数	317日	107.8%	294日*
1日あたり観覧者数	2,432人	100.8%	2,413人

\*東日本大震災による館内設備修繕のため、平成23年4月1日から同月30日まで休館。

### (2) 常設展示リニューアル

江戸東京博物館では、現行の常設展示における課題や問題点を解決し、館の発信力を強化していくため、平成22年度より東京都が設置する「江戸東京博物館常設展示リニューアル事業検討会」を開催し実施計画案を作成している。今年度は東京都との協定により、「展示改修基本設計」を実施するとともに、24、25年度の複数年で行う「展示改修実施設計」の当年度分を実施した。

### (3) 企画展

「展覧会等企画検討委員会」答申に基づき、東京都江戸東京博物館のミッションに沿った企画展を6回実施した。

#### ① 芝 増上寺 ～秀忠とお江の寺～

会 期 平成24年4月1日(日)～5月27日(日)

\*全体の会期は、平成24年3月27日(火)～5月27日(日)

会 場 常設展示室5階 第2企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 関東における浄土宗の重要な拠点として、また徳川将軍家の菩提寺として変貌する江戸・東京のランドマークであり続けた増上寺の歴史を紹介した。重要文化財を含む寺宝約60点を一堂に公開した。東日本大震災により1年延期しての実施となった。

担 当 齋藤慎一(事業企画課展示企画係)・橋本由起子(事業企画課展示事業係)

#### ② 発掘された日本列島 2012

会 期 平成24年6月12日(火)～7月29日(日)

会 場 常設展示室5階 第2企画展示室

主催 文化庁 東京都 東京都江戸東京博物館  
内容 文化庁との共催で、最新の発掘調査の成果を公開する巡回展。近年特に注目される約20遺跡、約561点の出土品を紹介するとともに、東北大震災における文化財レスキューなどの文化庁の取り組みについても紹介し、「埋蔵文化財保護」に対する理解を深めた。また、東京都埋蔵文化財センターと共催の地域展では、「汐留遺跡」を取り上げ、出土物を通して江戸の生活文化を展観した。また、ワークショップとして「縄文土器の文様をつけよう」を実施した。

担当 阿部由紀洋（事業企画課展示事業係）

② 市民からのおくりもの2012—平成23年度収集 新収蔵品から—

会期 平成24年8月7日（火）～9月23日（日）

会場 常設展示室5階 第2企画展示室

内容 過去一年間で新たに収集した資料を公開する展覧会。11回目にあたる今回は、平成23年度に収集した3,000点超の標本・映像音響資料の中から約200点を展示し、寄贈者に謝意を表するとともに博物館の資料収集活動に対する都民の理解を深める機会とした。関連ワークショップ「博物館の仕事体験してみよう」を実施し、来館者に資料収集の流れを紹介した。

担当 事業企画課資料係（熊谷紀子、益田茂、落合則子、行吉正一、西村直子、朴美姫、岡真理香）

③ 徳川家康の肖像

会期 平成24年10月6日（土）～11月25日（日）

会場 常設展示室5階 第2企画展示室

主催 東京都 東京都江戸東京博物館 公益財団法人徳川記念財団

内容 徳川家康のさまざまな肖像に着目し、約35点の家康像を一堂に集め、あわせて自筆の書画や遺品などからその実績や人物像を紹介した展覧会。徳川家康像の成立から没後に神となり、神像として描かれるようになるまでの家康の視覚的イメージの変遷をたどり、東照大権現像の成り立ちについて展観した。また、日本画の理解を深める視点から、ワークショップ「岩絵の具でぬり絵をしよう」を実施した。

担当 柳田直美（公益財団法人徳川記念財団）・眞下祥幸（事業企画課展示事業係）

協力 田中潤（学習院大学文学部史学科 助教）・中村玲（筑波大学日本美術史研究室 研究員）・松島仁（『国華』 編集員）

④ 浮世絵の中の忠臣蔵—江戸っ子が憧れたヒーロー

会期 平成24年12月11日（火）～平成25年1月27日（日）

会場 常設展示室5階 第2企画展示室

主催 東京都 東京都江戸東京博物館

内容 忠臣蔵の登場人物を描いた歌川国芳の武者絵を中心に取り上げ、ヒーローものとして江戸の人々の人気を得た忠臣蔵の姿を紹介した。第2企画展示室内を分割し、「笑う門には福来る」展と同時開催とした。また、おもちゃ絵の一ジャンルである組上げ絵をキット化した素材によるワークショップ、「組上げ絵で遊んでみよう」も開催した。

担当 小山周子（事業企画課展示事業係）

⑤ 笑う門には福来る

会期 平成24年12月11日（火）～平成25年1月27日（日）

会場 常設展示室5階 第2企画展示室

主催 東京都 東京都江戸東京博物館

内容 江戸時代の縁起物や刷り物、葛飾北斎の「北斎漫画」をはじめとする版本などから、江戸時代のユーモアを展観した。第2企画展示室内を分割し、「浮世絵の中の忠

臣蔵」展と同時開催とした。また、ワークショップ「正月書初め体験」を実施し、季節感の演出に努めた。

担 当 吉田奈緒子（事業企画課展示事業係）

⑥ 雑誌に見る東京の 20 世紀—館蔵資料紹介

会 期 平成 25 年 2 月 9 日（土）～3 月 10 日（日）

会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 近代日本における雑誌の歴史を追った展覧会。雑誌を発行時の社会の状況を映す「鏡」と捉え、そこに現れた近代東京の社会や文化、人々の生活を紹介した。あわせて近年におけるインターネットの急速な普及などにより存在感が薄れつつある雑誌の歴史的価値を改めて振り返る機会とした。

担 当 行吉正一（事業企画課資料係）

（4）特集展示

常設展示の各コーナーの魅力をより向上させるために、テーマを絞った特集展示を 4 回実施した。

① 日本映画の青春時代—日活映画 100 年の歩みから—

会 期 平成 24 年 8 月 28 日（火）～10 月 8 日（月・祝）

会 場 常設展示室 5 階 「よみがえる東京」コーナー

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 日活映画百周年記念イベントの連携企画として実施した特集展示。日活創立期から戦後の映画全盛期までの期間における社内文書や写真、ポスター、チラシ、衣装などを展示し、日本映画が隆盛を極めていた時代を展観した。

担 当 杓沢博行（事業企画課展示事業係）・池田理聖（インターン）

② 渋川春海と江戸時代の暦

会 期 平成 24 年 9 月 4 日（火）～11 月 11 日（日）

会 場 常設展示室 5 階 「出版と情報」コーナー

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 映画「天地明察」上映記念の連携企画として、作品中の主人公であり、江戸時代の天文学者である渋川春海を取り上げた特集展示。暦や天文に関する実物資料に、映画セットで利用した複製資料を織り交ぜた展示を行い、江戸時代の暦をわかりやすく解説した。

担 当 石山秀和（事業企画課展示事業係）・石隈聡美（インターン）

③ 広重・東海道五拾三次

会 期 平成 25 年 2 月 9 日（土）～3 月 10 日（日）

会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 開館 20 周年を記念して臨時開催した特集展示。歌川広重の代表作・保永堂版「東海道五拾三次」全 55 枚を一堂に展示し、館蔵資料の優品をアピールした。あわせて広重所用の旅道具などを展示し、江戸時代の旅の姿を展観した。

担 当 江里口友子（事業企画課長）

④ 全部見せます 北斎 富嶽三十六景

会 期 平成 25 年 3 月 15 日（金）～3 月 31 日（日）

会 場 常設展示室 5 階 第 2 企画展示室

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 開館 20 周年を記念して臨時開催した特集展示第二弾。館蔵コレクションの中でも特に人気があり、地域の偉人でもある葛飾北斎の代表作・「富嶽三十六景」

全 46 枚を一堂に展示した。全点を所蔵する博物館・美術館は限られており、全点を間近でご覧いただける貴重な機会となった。

担 当 小山周子（事業企画課展示事業係）

⑤ 旧江戸城写真ガラス原版

会 期 平成 25 年 3 月 19 日（火）～3 月 31 日（日）

会 場 常設展示室 6 階 「江戸城と町割り」コーナー

主 催 東京都 東京都江戸東京博物館

内 容 開館 20 周年を記念して臨時開催した特集展示第三弾。館蔵コレクションの内、国指定重要文化財である、横山松三郎撮影の「旧江戸城写真ガラス原版」29 枚の内、8 枚を特別公開した。光に対して非常に脆弱な資料のため、4 枚ずつ二期に分けて展示した。

担 当 田原 昇（事業企画課展示事業係）

2 分館（江戸東京たてももの園）

(1) 野外収蔵（分館）

「江戸東京たてももの園」において、現地保存が不可能な文化的・歴史的価値の高い建造物を移築・復元し、保存・展示する。さらに、復元建物の内部では生活民俗資料の展示を行うとともに、町並みを再現・創造し、優れた建築文化の理解に役立つ展示を行う。また四季折々の行事や遊び、伝統工芸の実演を行う。

〔入園者実績〕

区 分	平成24年度(A)	対前年比(A/B)	平成23年度(B)
一 般	85,806人	103.2%	83,160人
大学生・専門学校生	7,944人	102.0%	7,789人
高校生、都外中学生	2,217人	121.8%	1,820人
65歳以上	27,720人	110.4%	25,098人
無料観覧者 (小学生、都内中学生、 教育活動等)	99,782人	119.7%	83,387人
合 計	223,469人	111.0%	201,254人
1日あたり観覧者数	716人	110.3%	649人

① 収蔵建造物の復元

・デ・ラランデ邸の演示品収集、展示に関わる調査、検証委員会の開催、復元工事への協力

② 情景再現事業

情景再現事業の一環で、季節ごとの催しとして、春「こどもの日イベント」、夏「下町夕涼み」、秋「紅葉とたてもものライトアップ」などの各イベントを行った。

・こどもの日イベント

内 容 おつかいゲーム、ベーゴマ大会、兜・風車づくりなど、昭和の子供たちの遊びを再現。

期 間 平成 24 年 5 月 5 日（土・祝）・6 日（日）

会 場 園内全体

参加者数 7,251 人（当日来園者）

・小暑のつどい

内 容 七夕の折り紙講座や短冊に願いごとを書き込むほか、朝顔・ほおずきの鉢植え

販売などで、初夏の風情を再現。

期 間 平成 24 年 7 月 7 日（土）・8 日（日）  
会 場 西ゾーン・吉野家、東ゾーン・下町中通りなど  
参加者数 1,639 人（当日来園者）

・下町夕涼み

内 容 盆踊り、こども神輿、夜店などによる夏の夕涼みの風情を再現。  
期 間 平成 24 年 8 月 4 日（土）・5 日（日）  
会 場 園内全域  
参加者数 10,517 人（当日来園者）

・体験！発見！職人さん

内 容 東京の伝統工芸士を招いて、体験や見学をする。  
期 間 平成 24 年 10 月 13 日（土）・14 日（日）  
会 場 東ゾーン  
参加者数 2,311 人（当日来園者）

・紅葉とたてもののライトアップ

内 容 園内の建造物にやさしい光を当て、夜のたてものの園の魅力を伝える。  
期 間 平成 24 年 11 月 23 日（金・祝）・24 日（土）・25 日（日）  
会 場 園内全域  
参加者数 8,217 名（当日来園者）

・正月飾りづくり

内 容 藁を使った注連縄をつくる体験講座  
期 間 平成 24 年 12 月 8 日（土）・9 日（日）  
会 場 東ゾーン  
参加者数 77 人（当日参加者）

・新春の昔遊び

内 容 書き初め、双六、福笑いなどの遊びとお囃子など正月ならではの催しを実施。  
期 間 平成 25 年 1 月 12 日（土）・13 日（日）・14 日（月・祝）  
会 場 園内全体  
参加者数 4,887 人（当日来園者）

・伝統工芸の実演

江戸東京に残る伝統工芸の実演を行った。

内 容 東京銀器、和傘、漆工芸、桐箆笥、木版染小紋、村山大島紬、東京手描友禅、  
東京銀器、曲物、東京彫金、江戸鼈甲、江戸筆、鍛金、江戸指物、鍔金具、  
木目込師、江戸凧、木工建具、江戸べっ甲、帯仕立て、日本刺繍  
期 間 平成24年4月～平成25年3月のうち24日間  
会 場 江戸東京たてもの園 植村邸、川野商店他

・綱島家年中行事

かつての農家の年中行事を再現。

内 容 梅干しづくり、盆、梅の土用干し、十五夜飾り、十三夜飾り、大根干し、  
小正月・繭玉飾り、節分  
期 間 平成24年4月～平成25年3月のうち年8回  
会 場 江戸東京たてもの園 綱島家

③ 学校連携事業

「昔暮らし体験」「ひじろっ子（子どもボランティア）」「教職員研修」等を実施した。

・昔暮らし体験

園内茅葺き民家内などで、石臼での粉ひきや火鉢体験、昔の道具探しなどを実施した。

参加人数 50校 4,215人

・子どもボランティア「ひじろっ子」

夏休み期間中に、小学生の「小さな社会貢献」として茅葺き民家の掃除、民家の解説、独楽や竹馬などの遊びの指導、小金井公園桜守とともに桜の調査などを行った。

また、イベント時にはボランティアとして園の事業を支援した。

参加人数 53人

・教職員研修

小金井市等の教員に対し、学校連携での活用方法等の研修を行った。

参加人数 21人

④ こども向け教育普及事業

・たてもの園 ステキなお家探し隊 えどまる不動産

開催日 平成24年6月3日(日)

参加人数 126人

・夏休みアート教室 紙でたてもの園をつくろう!

開催日 平成24年8月25日(土)・26日(日)

参加人数 21人

・けんちく体操ワークショップ

開催日 平成24年10月8日(月・祝) ※1日2回実施

参加人数 56人

⑤ミュージアムトーク

毎月1回(第4土曜日)に随時実施。

学芸員による復元建造物や特別展について解説した。

[内 容]

4月28日(土):特別展「小麦と武蔵野の暮らし」 川上香(学芸員)

5月26日(土):常盤台の歴史と常盤台写真場 高橋英久(学芸員)

6月23日(土):山の手住宅について 早川典子(学芸員)

7月28日(土):灯籠はなぜ地震に弱いのか 畑尚子(学芸員)

8月25日(土):特別展「武蔵野の歴史と考古学」 小林克(学芸員)

9月22日(土):綱島家の暮らし 川上香(学芸員)

10月27日(土):特別展「武蔵野の歴史と考古学」 小林克(学芸員)

11月24日(土):幻のオリンピックと紀元二千六百年祭(旧光華殿解説)  
松井かおる(学芸員)

12月22日(土):武蔵野のハケと文学 湯川説子(学芸員)

1月25日(土):「子宝湯」の建築と暮らし 高橋英久(学芸員)

2月22日(土):特別展「たてもの園と建築家たち」 早川典子(学芸員)

3月22日(土):特別展「たてもの園と建築家たち」 早川典子(学芸員)

⑥武蔵野の歴史と考古学～江戸東京たてもの園収蔵品展～関連事業

・スペシャルトーク

会期中毎月1回(第3土曜日)に実施。

8月18日(土)、9月15日(土)、10月20日(土)、

11月17日(土)、12月15日(土):ギャラリー展「縄文中期の様と美」を中心に  
東京都埋蔵文化財センター調査研究員

・記念講演会

11月10日（土）：「武蔵野郷土館と考古学」

武蔵野博物館と武蔵野郷土館 加藤功（元武蔵野郷土館学芸員）

武蔵野郷土館資料の魅力 土井悦枝（元武蔵野郷土館学芸員）

武蔵野郷土館と考古学 坂詰秀一（武蔵野文化協会会長）

⑦ビジターセンターの導入展示

・小金井公園・たてもの園桜写真展

平成24年4月1日（日） 入園者数108人

（平成23年度分会期：3/13（火）～3/31（土））

・第7回小金井桜今昔写真展

平成24年4月3日（火）～15日（日） 入園者数1,492人

・中央線の桜 東京編（瀬戸豊彦作品集より）展

平成24年4月17日（火）～5月6日（日） 入園者数1,292人

・第10回小金井公園・たてもの園桜写真展

平成24年5月8日（火）～27日（日） 入園者数867人

・第58回小金井四季の観光写真コンクール入賞作品展

平成24年7月24日（火）～8月5日（日） 入園者数467人

・第34回小金井薪能写真展

平成24年8月14日（火）～26日（日） 入園者数319人

・たてもの園ボランティアスケッチ同好会作品展

平成24年10月23日（火）～11月4日（日） 入園者数490人

・特集「武蔵野郷土館」パネル展

平成24年11月6日（火）～12月27日（日） 入園者数1,171人

・東京のくらしと木 檜と杉展

平成25年1月29日（火）～2月24日（日） 入園者数1,149人

・サクラサク写真展 Part1～桜写真展上位入選作品展

平成25年3月19日（火）～3月31日（日） 入園者数903人

（平成25年度分会期：4/1（月）～4/14（日））

⑧東京大茶会

平成23年10月1日（土）・2日（日） 入園者数7,388人

⑨開園20周年記念事業

・開園20周年記念シンポジウム

平成25年3月23日（土） 参加者数86人

・開園20周年記念イベント

平成25年3月23日（土）～29日（金） 入園者数22,713人

※ 開園記念日（入場料無料）3月28日（木）の入園者数11,342人

(2) 展示企画

特別展

・開園20周年記念 万徳旅館にみる暮らしの100年

平成24年4月1日（火）～4月8日（日）／入園者数14,590人

（平成23年度分会期：1/17～3/31 全会期入園者数：47,115人）

内容：万徳旅館関係資料を中心に、この100年の暮らしの変遷を展示した。電気や水道、ガスが無かった時代から、大きく生活の変化が見られた様子をふりかえった。

- ・開園 20 周年記念 小麦と武蔵野の暮らし  
平成 24 年 4 月 21 日（土）～7 月 8 日（日）／入園者数 43,626 人  
内容：多摩地域は、江戸・東京に穀物を供給する役割を担った大穀倉地帯で、武蔵野の「食」を形成した小麦を題材に農と食の歴史、伝統的智恵と暮らしについて紹介した。
- ・開園 20 周年記念 武蔵野の歴史と考古学～江戸東京たてもの園収蔵品展～  
平成 24 年 7 月 28 日（土）～12 月 24 日（月・休）／入園者数 87,025 人  
内容：たてもの園が武蔵野郷土館から引き継いだ考古資料を中心に、武蔵野の歴史をふりかえった。
- ・開園 20 周年記念 たてもの園と建築家たち  
平成 25 年 1 月 17 日（木）～3 月 31 日（土）／入園者数 56,102 人  
（平成 25 年度分会期：4/1～5/6）  
内容：たてもの園に復元した収蔵建造物を設計した建築家・堀口捨己、三井道夫、前川國男にゆかりの資料を展示した。

## II 特別展示

「3T戦略」(Target 対象入館者、Timeliness 時宜、Top of sales point 目玉資料)のもと、時代やジャンルなどバラエティー豊かなラインナップの特別展を開催し、新たな来館者層の開拓を目指した。

また、日頃の調査研究の成果と充実した収蔵品を紹介した特別展では、江戸博の独自性をアピールすることができた。運営面では、関連事業やタイアップ企画の実施、オンラインチケットの販売拡充、協力金方式による収入率アップなど、コスト意識を踏まえて事業を推進した。

平成24年度の特別展入館者数は、延べ246日間の会期に計354,046人の観覧者を迎えることができた。

### 1 特別展 東京スカイツリー完成記念特別展 ザ・タワー～都市と塔のものがたり～

期 間	平成24年4月1日（日）～平成24年5月6日（日） 延べ32日間 *全体の会期は、平成24年2月21日（火）～平成24年5月6日（日）延べ67日間
会 場	1階 企画展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション
特別後援	東武鉄道株式会社、東武タワースカイツリー株式会社、株式会社日建設計、株式会社大林組
後 援	フランス大使館、墨田区、一般社団法人墨田区観光協会
協 力	日本科学未来館、全日本タワー協議会、通天閣観光株式会社、日本電波塔株式会社 / エールフランス航空、日本航空
内 容	平成24年春、墨田区に東京スカイツリーが開業した。本展は開業にあわせ、人はなぜ塔を建てるのか、という視点に立ち、東京・大阪・パリなど近代の都市に登場した塔の歴史を概観した。スカイツリー・薬師寺東塔・通天閣など、話題性の高い塔たちをとりあげるとともに、館蔵の喜多川コレクションの浅草凌雲閣関係資料関係資料など、館蔵品を最大限に活用し、新しいランドマークとなるスカイツリーへの関心を高め、都市史の中における塔について興味を深めてもらい、江戸東京博物館独自の視点による自主企画として、高いクオリティを目指した。
観 覧 料	一般1,300円 大学・専門学校生1,040円、小中高生・65歳以上650円
入場者数	35,375人（1日平均 1,105人） *会期全体では、60,967人（1日平均 910人）

### 関連イベント

#### (1) 「えどはく Towers」パフォーマンス

えどはく Towers（東京タワーくん、通天閣くん、凌雲閣さん、エッフェル塔さん、



バベルくん)は、「ザ・タワー展」のPRキャラバン隊として結成され、本展に登場する都市の塔たちをモチーフにしたカブリモノをつけ、オリジナルテーマ曲によってダンスパフォーマンスを行った。

東京都江戸東京博物館内

日時：4月1日(日)、4月7日(土)、4月8日(日)、  
4月14日(土)、4月15日(日)、4月21日(土)、4月22日(日)、  
4月28日(土)、4月29日(日)、4月30日(月・祝)、5月1日(火)、  
4月2日(水)、5月3日(木・祝)、5月4日(金・祝)、5月5日(土)、  
5月6日(日)

## (2) 全国タワー・マスコットサミット「G13」

「えどはくタワーズ」の呼びかけにより、全日本タワー協議会のマスコット13組が江戸東京博物館に集まったイベント。

①「13組のタワー・マスコットに会える！」

内容：えどはくタワーズとタワー・マスコット13組(日替わり出演)とのパフォーマンス

日時：4月1日(日) 11時、13時、15時

場所：江戸東京博物館内

②サミット開催を記念して、高校生以下の展覧会来場者に、「えどはくタワーズ名刺5枚セット」を配布。

実施日：4月1日(日)

## 2 江戸東京博物館開館20周年記念特別展 「日本橋～描かれたランドマークの400年～」

期 間 平成24年5月26日(土)～7月16日(月・祝) 延べ45日間

会 場 1階 企画展示室

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、  
朝日新聞社

協 賛 野崎印刷紙業株式会社

協 力 国分株式会社

内 容 平成23(2011)年4月に石造の日本橋は架橋100年を迎えた。日本橋川にも船の棧橋が完成し隅田川方面への水路が開け、周辺とその流域の活性化が注目を集めている。本展は、日本橋と周辺地域の歴史を、絵画、写真、絵葉書等の館蔵資料により紹介し、都市の橋である日本橋の姿を明らかにした。日本橋川から隅田川にかけての水運や、劇的な変化を遂げた周辺一帯の様子にも着目した。

観 覧 料 一般1,000円 大学・専門学校生800円

小中高校生・65歳以上500円

入場者数 50,589人(1日平均 1,124人)

関連イベント

### (1) 開催記念落語会「林家一門会」

出演者：

3日(土) 林家正蔵(演目 幾代餅)、三増紋之助 曲独楽・林家種平  
干物箱・林家錦平 岸柳島・林家たけ平 片棒・林家まめ平 真田小僧

9日(土) 林家三平(演目 井戸の茶碗)、翁家勝丸 太神楽・林家鉄平  
あくび指南・林家うん平 芝居の喧嘩・林家はな平 短命・林家なな子 転失気

10日(日) 特別出演 三遊亭金馬(演目 大仏餅)、林家ぼたん 半分垢  
寄席の踊り・林家源平 黄金餅・林家のん平 道具屋・林家たこ平 長短  
・林家つる子 たらちね

日時：6月3日（日）、9日（土）、10日（日）  
開演：午後2時  
場所：江戸東京博物館1階ホール  
料金：全席指定「特別展観覧券付き」前売券  
3回セット券10000円、前売券4000円、当日券4500円。  
未就学児童無料（ただし、座席が必要な場合は有料）。  
参加者数：3日19人、9日14人、10日36人

(2) 広重の名画でたどる日本橋～両国の歴史散歩

日時：平成24年5月27日（日） 少雨決行  
集合場所：「コレド日本橋」（永代通り側）東京都中央区日本橋1-4-1  
募集人数：300人（応募者多数の場合は抽選）  
参加費：2000円（特別展「日本橋」の観覧料、保険等を含む）当日集金  
スケジュール：  
[1] 9時～9時30分 「コレド日本橋」（永代通り側）で受付・集金  
[2] 行程 9時10分～11時30分 「コレド日本橋」からコースを散歩～江戸東京博物館到着。展覧会会期中有効の特別展観覧券と参加記念品を配布。  
[3] 50人1組、全6組。各組とも先導員・説明員が案内。  
[4] コースは約5km、約2時間。  
参加者数：114人

3 江戸東京博物館開館20周年記念 「二条城展」

期間 平成24年7月28日（土）～9月23日（日）延べ53日間  
会場 1階 企画展示室  
主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社、  
京都市、博報堂DYメディアパートナーズ  
協賛 プリントパック、光村印刷  
映像協力 凸版印刷  
内容 二条城では、平成23（2011）年から、建造物の「築城以来の大修理」に着手していた。徳川家康によって造営された二条城は、徳川家が将軍宣下の返礼のため、御所に参内する際の拠点となり、幕末には幕府と朝廷の交渉の場として時代の変遷を見守った場所。本展では、重要文化財・二の丸御殿障壁画をはじめとする、通常は城内でしか見られない資料を一堂に展示するとともに、二条城に関わる徳川家の歴史を紹介した。

観覧料 一般1,300円 大学・専門学校生1,040円  
小中高校生・65歳以上650円

入場者数 112,127人（1日平均 2,116人）

関連イベント

二条城展シンポジウム—京都・徳川・二条城  
日程：9月17日（月・祝）13:00～16:00  
会場：東京都江戸東京博物館 1階ホール  
パネリスト：小沢 朝江 東海大学教授、田中 暁龍 桜美林大学 専任准教授、  
松島 仁 国華社 編集員  
参加費： 無料  
参加者数：241人

4 江戸東京博物館開館20周年記念特別展 「維新の洋画家-川村清雄」

期 間	平成24年10月8日（月・祝）～12月2日（日）延べ48日間
会 場	1階 企画展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社
後 援	イタリア大使館、フランス大使館、明治美術学会
協 力	日本航空、アリタリア航空
内 容	日本洋画の先駆者であり独自の画風を築いた知られざる画家川村清雄の画業と生涯を紹介した。幕臣の子に生まれ、米仏伊へ留学を果たしたが、帰国後は画壇から遠ざけられ、明治期の日本が近代化の名のもとに自国の伝統文化を解体再編しゆく中、清雄は日本人にとって美のアイデンティティーとは何かを追究した。渡仏した晩年の傑作《建国》をはじめとする代表作の他、豊富な歴史資料を用い、徳川家達や勝海舟など人物交流のエピソードを交えて清雄の生きた時代を浮き彫りにした。
観 覧 料	一般1,300円 大学・専門学校生1,040円、小中高生・65歳以上650円
入場者数	31,475人（1日平均 656人）

5 江戸東京博物館開館20周年記念特別展 「尾張徳川家の至宝」

期 間	平成25年1月2日（水）～2月24日（日）延べ49日間
会 場	1階 企画展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、徳川美術館、東京新聞、TBSテレビ
後 援	BS-TBS、TBSラジオ
内 容	尾張徳川家は、徳川家康の九男・義直によって創始された御三家筆頭61万9,500石の名門大名。名古屋城を居城とし、江戸時代を通じて徳川将軍家に次ぐ格式を誇った。大名家は家の歴史・格式を示すために数々の道具を備えており、本展では、武器刀剣類のほか、武家の教養とされた茶の湯や香に関わる道具など、尾張徳川家の名品の数々を紹介した。
観 覧 料	一般1,300円 大学・専門学校生1,040円、小中高生・65歳以上650円
入場者数	102,986人（1日平均 2,102人）

関連イベント

生活セミナー 江戸時代の武家文化や生活

第一部 特別展「尾張徳川家の至宝」のみどころ

栗屋 朋子（東京都江戸東京博物館学芸員）

第二部 時代劇と武士の生活～江戸時代～

山田 順子（時代考証家）

主催：東京新聞、公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

日時：平成25年1月19日（土） 13:00～16:00

会場：東京都江戸東京博物館 1階ホール

参加費： 無料

参加者数：356人

6 江戸東京博物館開館20周年記念 2013年NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」

期 間	平成25年3月12日（火）～3月31日（日）延べ19日間、 *全体の会期は、平成24年3月12日（火）～5月6日（日）延べ51日間
会 場	1階 企画展示室
主 催	公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、NHK、NHKプロモーション
協 賛	日本写真印刷株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、

	ハウス食品株式会社
協力	同志社大学
内容	平成25（2013）年1月から始まる、NHK大河ドラマ「八重の桜」と連動して開催。福島県出身で、同志社大学を創立した新島襄の妻、新島八重の生涯を追うとともに、自ら銃をとって戦った戊辰戦争や、看護師に志願・従軍した日清・日露戦争に関わる、幕末から明治期の騒乱を伝える歴史資料を展示した。
観覧料	一般1,300円 大学・専門学校生1,040円、小中高生・65歳以上650円
入場者数	21,494人（1日平均 1,131人）

### Ⅲ 資料収集

#### 1 資料収集

貴重な文化遺産を継承していくため、東京都と調整を図りながら厳選した資料収集を行った。

平成24年度は、資料収蔵委員会を2回開催し、第1回目（10月31日）では購入資料を中心に、第2回目（1月31日）では寄贈資料を中心に付議した。

#### (1) 平成24年度資料収集点数 (単位：点)

区分	購入	寄贈	その他	計
標本資料	394	3,657	0	4,051
図書資料	611	0	4,618	5,229
映像音響資料	17	3,748	0	3,765
合計	1,022	7,405	4,618	13,045

#### (2) 主な収集資料（寄贈資料より）

分類	資料名
建造物	擬宝珠（万治二年）
絵画	川村修富肖像
工芸品	短刀（川村家伝来）
工芸品	長板中形浴衣（清水幸太郎／型付）
文書類	進駐軍検閲済テープ付書簡
典籍等	甲冑名所並着用順序書 等
絵画・生活民俗等	橘 右近席関係資料 一括
静止画	浅草十二階前集合写真 等
静止画	クロード・A・バーロウ氏日本滞在時調査写真 一括
静止画	昭和期東京生活文化写真 一括

#### 2 資料制作

「黒船来航風俗絵巻」（埼玉県立歴史と民俗の博物館所蔵）、「江戸城明渡の帰途」（当館蔵）「名所江戸百景 亀戸梅屋敷（版木及び摺り順序）」（当館蔵）の3件96点の複製資料を製作した。

#### 3 収蔵品の購入

常設展・企画展・特別展に有効に利用される資料、及び利用頻度が高く保全面で留意する必要がある資料を優先し、資料総体の消耗を防ぎつつ、魅力ある博物館運営を図れるよう、資料を購入し

た。

[主な購入資料]

分類	資料名
絵画	鶉会之図屏風
絵画	雪の伊吹山 橋口五葉／画
工芸品	白綾子地矢来梅立木模様小袖
工芸品	白羅紗葵紋付陣羽織（徳川慶喜所用）
工芸品	黒塗銀立涌葵紋散蒔絵陣笠（徳川慶喜所用）
文書類	花菖蒲培養録
文書類	宿影奇縁 月濃桂 稿本 十返舎一九／著
文書類	米屋田中家文書
印刷物	増補江戸大絵図
印刷物	芳原（吉原）細見図

## IV 資料管理・保全

### 1 資料管理・保全

#### (1) 資料の修理

33件（80点）の修理を行った。

[内 訳]

資料分類	件数	点数	資料分類	件数	点数
標本資料	29	30	図書資料	4	50
絵画	11	12	図書	4	50
工芸品	2	2			
文書類	9	9			
印刷物	7	7			

#### (2) 資料の収蔵

平成25年3月末日現在、578,186点（データ点数）を収蔵、管理している。

【内 訳】

標本資料	310,594点
映像音響資料	41,726点
図書資料	227,641点

#### (3) 資料の貸出

平成25年3月末日現在、博物館等の依頼に応じて、30件（539点）の資料を貸し出した。

#### (4) 寄託資料の更新

9件、20,823点の寄託資料の更新を行った。

### 2 コンピュータシステムの運営

資料の収集から資料の各種事業（常設・企画展示、調査研究、資料のメンテナンス、貸出等）への

活用までを支援するとともに、来館者に対して図書室の端末等により資料の情報を文字と画像で提供するため、コンピュータシステム(資料情報システム)の管理及び運用を行った。

## V 調査・研究

### 1 都市歴史研究

#### (1) 年間特定研究「隅田川流域の歴史と文化 隅田川と向島」

研究成果はシンポジウム「隅田川と本所・向島 ー開発と観光ー」等で発表した。

#### (2) 共同研究

##### ① 比較都市研究 江戸と大坂(大阪歴史博物館との共同研究)

小澤弘・市川寛明・田中実穂・米山勇

##### ② 在外日本コレクションの所在調査(国立歴史民俗博物館との共同研究)

小林淳一・小山周子

#### (3) 基盤研究

##### ① 小澤 弘「東北大学附属図書館狩野亨吉文庫所蔵斎藤月岑画「大江戸絵馬集成」をめぐって」

##### ② 市川寛明「米屋田中家文書の研究(人宿米屋田中家の経営と参勤交代)」

##### ③ 田中実穂「小笠原島領有をめぐる出張命令書他資料について」

##### ④ 米山 勇「増上寺三門の建立年代をめぐって」

#### (4) シンポジウムの開催

「隅田川と本所・向島 ー開発と観光ー」

江戸から東京への時代の移り変わりの中で、本所・向島地域がどのように変容し、また新しい街を形成していったのか、その過程を跡づけ、本所・向島地域形成の特質を考えるシンポジウムを開催した。

開催日 平成25年2月16日(土)

会場 1階 ホール

参加人数 368人

報告

中山学(墨田区文化財保護指導員)「天和年中本所総上地についてー『江東撤退』再考」

奥田敦子(公益財団法人墨田区文花振興財団)「隅田川と花火 ー北斎を出発点としてー」

小澤 弘(江戸東京博物館)「墨東の景勝地と観光の変容」

田中実穂(江戸東京博物館)「向島百花園のあゆみ」

米山 勇(江戸東京博物館)「近現代におけるすみだの景観ー東京スカイツリーがもたらすもの」

コメンテーター

福澤徹三(すみだ郷土文化資料館)

龍澤 潤(深川東京モダン館)

#### (5) 書籍の編集・刊行

##### ① 『調査報告書』第27集の刊行

名称 『芝地域を考えるー愛宕山・増上寺・芝神明ー』

発行年月日 平成24年11月29日

発行部数 1,000部

芝地域を考えるー愛宕山・増上寺・芝神明ー／石山秀和

絵は芝神明ー芝の絵草紙屋ー／鈴木俊幸

芝神明と宮地芝居／佐藤かつら

芝愛宕山の移りかわりーJOAK・東京放送局の設立ー／佐藤紘司

地形から考える芝公園と芝増上寺ー芝地域の理解の一助としてー／高山優

平成23年度都市歴史研究室シンポジウム「芝地域を考えるー愛宕山・増上寺・芝神明ー」パネルディスカ

セッションの記録

芝地域に関する資料一覧／田中実穂

芝地域関連図書資料目録／式淳子

口絵解説／小澤弘

## ② 『紀要』第3号の刊行

江戸東京博物館で行った研究や博物館活動の成果を公表するため、『東京都江戸東京博物館紀要』第3号を刊行した。

名 称 『東京都江戸東京博物館紀要』第3号

発行年月日 平成25年3月18日

発行部数 1,500部

構 成

口 絵

序 言

論 文

増上寺三解脱門の建立年代に関する一考察／米山 勇

人宿米屋による参勤交代の請負実態と収益メカニズム—安政6年 桑名藩参府行列を事例に—／市川寛明

斎藤月岑の「武江扁額縮圖」をめぐる—東北大学附属図書館狩野亨吉文庫「大江戸絵馬集」を中心に—

／小澤 弘

新版画と伝統—「増上寺の雪」の制作と戦後の状況について／小山周子

特別展「小麦と武蔵野の暮らし」調査報告／川上 香

博物館図書室の「レファレンスサービス」とレファレンス協同データベースの活用／井上美奈子

### 【小特集】芥川龍之介と両国

芥川龍之介文学の揺籃としての両国—芥川の怪奇文学—／行吉正一

芥川龍之介「開化の良人」に描かれた両国—大川の赤い月—／神田由美子

小説の舞台としての両国—怪奇から狂気へ—／畷田明子

自画像の背景としての両国—「少年」「大導寺信輔の半生」「追憶」—／安藤公美

関東大震災—芥川龍之介と東京・両国—／五島慶一

## VI 図書室等の運営

博物館資料として収集した図書の保存及び来館者への閲覧、レファレンスサービスを行った。

閉室期間中（24年12月4日（火）～同年12月14日（金））は、蔵書整理、開架書籍の入替えなどを実施した。

### 1 図書室利用状況

入室者数	37,598人
閉架図書請求数	1,981冊
マイクロフィルム請求数	363件
図書複写申請数（モノクロ）	11,632枚
図書複写申請数（カラー）	1,900枚
マイクロフィルム複写申請数	6,339枚
レファレンス対応数	1,901件
インフォメーション対応数	1,292件
WEB-OPAC検索利用数	684,630件

ALC検索利用数	70,670件
国立国会図書館レファレンス協同データベース利用数	41,901件

## 2 図書室ミニ講座

えどはくカルチャー「古文書初級講座」等にあわせて、参加者向けに古文書学習のための一助として、図書室のマイクロリーダーの使い方や図書室所蔵のマイクロフィルムを紹介するミニ講座を開催した。

平成24年6月29日（金）12:00～ 15:30～ （2回）

平成25年3月21日（木）12:00～ 15:30～ （2回）

## 3 夏休み子ども歴史学習相談

夏休みの自由研究や調べ学習に関するレファレンス対応を図書室で行った。実施にあたっては専用書架を設け、図書リストを作成し、事前周知を行った。

期 間 平成24年7月14日（土）～9月2日（日）

## 4 図書室内展示

図書室が所蔵する資料から、話題性のあるテーマで特集展示を行った。

展示テーマ	会 期	担 当
和紙で四つ目綴じのノートを作ってみよう	7月14日（土）～8月31日（金）	楯石もも子（司書）
大正・昭和の子ども漫画『正チャンの冒険』	9月14日（土）～10月30日（水）	楯石もも子（司書）
東京駅赤レンガ駅舎	11月17日（土）～3月31日（日）	楯石もも子（司書）
忠臣蔵と大河ドラマ	12月4日（水）～1月27日（日）	井上美奈子（司書）
雑誌にみる東京の20世紀	2月9日（土）～3月24日（日）	式淳子（司書）

## 5 特集図書コーナー

企画展・特別展や時事に合わせて図書の特集コーナーを設置した。

特集テーマ	会期	担当
特別展「ザ・タワー ～都市と塔のものがたり～」展	2月21日（火）～5月6日（日）	栗原智久（司書）
企画展「芝 増上寺 ～秀忠とお江の寺」展	3月27日（火）～5月27日（日）	栗原智久（司書）
江戸・東京の花見に関する図書	4月3日（火）～5月6日（日）	井上美奈子（司書）
藤岡屋日記	5月7日（月）～6月10日（日）	井上美奈子（司書）
企画展「日本橋～描かれたランドマークの400年～」展	5月26日（土）～7月16日（月）	栗原智久（司書）
企画展「発掘された日本列島2012」展	6月12日（火）～7月29日（日）	式淳子（司書）



夏休み子ども歴史学習に関する図書	7月14日(土)～9月2日(日)	栗原智久(司書)
特別展「二条城」展	7月28日(土)～9月23日(日)	井上美奈子(司書)
新収「東京スカイツリー」関連図書	10月1日(月)～3月31日(日)	栗原智久(司書)
企画展「徳川家康の肖像」展	10月6日(土)～11月25日(日)	楯石もも子(司書)
特別展「川村清雄」展	10月8日(月)～12月2日(日)	式淳子(司書)
東京駅赤レンガ駅舎関連図書	11月17日(土)～3月31日(日)	楯石もも子(司書)
追悼十八代目中村勘三郎関連図書	12月15日(土)～12月24日(月)	井上美奈子(司書)
特別展「尾張徳川家の至宝」展	1月2日(水)～2月24日(日)	楯石もも子(司書)
追悼十二代目市川團十郎関連図書	2月5日(火)～2月28日(木)	井上美奈子(司書)
企画展「雑誌にみる東京の20世紀 一館蔵雑誌紹介」展	2月9日(土)～3月24日(日)	式淳子(司書)
シンポジウム「関隅田川と本所・向島」関連図書	2月16日(土)～3月31日(日)	式淳子(司書)
企画展「北斎富嶽三十六景」展	3月15日(金)～3月31日(日)	楯石もも子(司書)

## 6 職場体験受入

江戸東京博物館で職場体験の受入した中学校のうち、下記期間は図書室において、図書配架、図書出納サービス、図書装備、データ入力等の体験受入をした。

平成24年7月12～13日	2名
平成24年9月12～13日	3名
平成24年10月12日	2名
平成24年11月6～7日	2名
平成24年11月28日	2名
平成25年1月18日	2名
平成25年2月21～22日	2名
平成25年3月8日	1名

## VII 教育普及

### 1 えどはくカルチャー

都市歴史研究室が行っている調査研究活動の成果をわかりやすく解説する講座、特別展・企画展の関連講座、合計109講座を開催した。

期 間	平成24年4月13日(金)～平成25年3月21日(木)
会 場	江戸東京博物館(ホール、会議室)
受 講 料	各講座 一般 1,000円(一部例外あり、セット割引あり) 友の会、ボランティア 800円(同上)
受講者数	11,554人
講 座 数	109講座

## (1) 春期カルチャー 計48講座

※外部講師

	講座名	開催日	講師	参加人数
展覧会 関連講座	特別展「ザ・タワー～都市と塔のものがたり～」 ①特別展「ザ・タワー～都市と塔のものがたり～」 の見どころ	4月13日	岩城紀子	47
	特別展「ザ・タワー～都市と塔のものがたり～」 ② タワー博士 内藤多仲	4月20日	米山勇	51
	企画展「芝 増上寺～秀忠とお江の寺～」 ①増上 寺の変遷と江戸 AM	4月17日	齋藤慎一	64
	企画展「芝 増上寺～秀忠とお江の寺～」 ①増上 寺の変遷と江戸 PM	4月17日	齋藤慎一	95
	企画展「芝 増上寺～秀忠とお江の寺～」 ②考古 学から見た増上寺徳川将軍家霊廟 AM	5月8日	高山優	69
	企画展「芝 増上寺～秀忠とお江の寺～」 ②考古 学から見た増上寺徳川将軍家霊廟 PM	5月8日	高山優	97
	江戸東京博物館開館 20周年記念特別展 「日本橋～描かれたランドマークの400年～」 〈特別展開催記念講座〉日本橋－未来につなごう 今・むかしー	6月2日	竹内誠	155
	江戸東京博物館開館 20周年記念特別展 「日本橋 ～描かれたランドマークの400年～」 ①特別展「日本橋～描かれたランドマークの400年 ～」の見どころ	6月7日	我妻直美	116
	江戸東京博物館開館 20周年記念特別展 「日本橋 ～描かれたランドマークの400年～」 ②日本橋の創架と賑わい	6月14日	小澤弘	115
江戸東京博物館開館 20周年記念特別展 「日本橋 ～描かれたランドマークの400年～」 ③東洋のヴェネツィア～日本橋と近代建築	6月21日	米山勇	112	
江戸と 東京を学ぶ	旗本 ①旗本の身分	4月26日	田原昇	262
	旗本 ②旗本の役割	5月10日	田原昇	258
	旗本 ③旗本とイエ	5月24日	田原昇	261
	参勤交代と人材派遣業①江戸時代の街道制度と通 日雇 AM	4月27日	市川寛明	83
	参勤交代と人材派遣業①江戸時代の街道制度と通 日雇 PM	4月27日	市川寛明	114
	参勤交代と人材派遣業②人宿米屋の発展と六組飛 脚仲間の結成 AM	5月11日	市川寛明	75
	参勤交代と人材派遣業②人宿米屋の発展と六組飛 脚仲間の結成 PM	5月11日	市川寛明	98

	江戸時代の教科書 ①江戸方角と江戸往来	5月30日	石山秀和	191
	江戸時代の教科書 ②謹身往来の世界	6月13日	石山秀和	170
	江戸時代の教科書 ③往来物と職業	6月27日	石山秀和	176
	描かれた都市・江戸 ①都市図の系譜 ー清明上河図から江戸の都市図へー AM	5月31日	小澤弘	51
	描かれた都市・江戸 ①都市図の系譜 ー清明上河図から江戸の都市図へー PM	5月31日	小澤弘	103
	描かれた都市・江戸 ②あらまほしき都の景色ー洛中洛外図屏風ー AM	6月28日	小澤弘	53
	描かれた都市・江戸 ②あらまほしき都の景色ー洛中洛外図屏風ー PM	6月28日	小澤弘	104
古文書講座	古文書中級講座「古文書を読みこなす」① AM	4月18日	※北原進	44
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」① PM	4月18日	※北原進	38
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」② AM	4月25日	※北原進	44
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」② PM	4月25日	※北原進	35
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」③ AM	5月2日	※北原進	42
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」③ PM	5月2日	※北原進	37
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」④ AM	5月9日	※北原進	43
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」④ PM	5月9日	※北原進	36
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」⑤ AM	5月16日	※北原進	44
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」⑤ PM	5月16日	※北原進	37
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」⑥ AM	6月6日	※北原進	37
	古文書中級講座「古文書を読みこなす」⑥ PM	6月6日	※北原進	35
	古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」① AM	5月18日	近松鴻二	84

古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」① PM	5月18日	近松鴻二	63
古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」② AM	6月1日	近松鴻二	82
古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」② PM	6月1日	近松鴻二	58
古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」③ AM	6月8日	近松鴻二	106
古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」③ PM	6月8日	近松鴻二	53
古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」④ AM	6月15日	近松鴻二	87
古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」④ PM	6月15日	近松鴻二	56
古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」⑤ AM	6月22日	近松鴻二	71
古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」⑤ PM	6月22日	近松鴻二	51
古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」⑥ AM	6月29日	近松鴻二	83
古文書初級講座「くずし字解読への挑戦」⑥ PM	6月29日	近松鴻二	53

(2) 夏期カルチャー 計19講座

※外部講師

	講座名	開催日	講師	参加人数
展覧会関連講座	二条城①二条城の構造を考える	8月10日	齋藤慎一	290
	二条城②二条城障壁画の謎	8月24日	※松本直子	293
	二条城③「京の城」、二条城	9月7日	※中谷至宏	288
	「発掘された日本列島 2012」 文化財レスキュー事業における埋蔵文化財保護の取り組み AM	7月20日	※渡辺丈彦	26
	「発掘された日本列島 2012」 文化財レスキュー事業における埋蔵文化財保護の取り組み PM	7月20日	※渡辺丈彦	31
ヨクシ	ワークショップ「和綴じ本を作ってみよう！」 AM	7月25日	楯石もも子	28

	ワークショップ「和綴じ本を作ってみよう！」 PM	7月25日	楯石もも子	34
	ワークショップ「和楽器を体験！水道管尺八」	8月8日	※田嶋謙一	11
	挑戦！けんちく体操	8月25日	米山勇	10
江戸東京を学ぶ	江戸時代の料理本「百珍物」について	7月11日	田中実穂	165
	永井荷風『つゆのあとさき』にみる東京	7月13日	湯川説子	70
	描かれた都市・江戸③寛永の華麗な武都・江戸—江戸図屏風— AM	7月19日	小澤弘	120
	扇とうちわ AM	7月26日	小澤弘 + ※阿部富士子	34
	扇とうちわ PM	7月26日	小澤弘 + ※阿部富士子	44
	描かれた都市・江戸③寛永の華麗な武都・江戸—江戸図屏風— PM	7月19日	小澤弘	139
	描かれた都市・江戸④—覧する大江戸の景色—江戸一目図屏風— AM	9月27日	小澤弘	114
	描かれた都市・江戸④—覧する大江戸の景色—江戸一目図屏風— PM	9月27日	小澤弘	128

(3) 秋期カルチャー 計19講座

※外部講師

	講座名	開催日	講師	参加人数
展覧会関連講座	江戸東京博物館開館20周年記念特別展 「維新の洋画家—川村清雄」 ①川村清雄の油絵—江戸絵画と西洋画の融合—	10月11日	※山梨絵美子	64
	江戸東京博物館開館20周年記念特別展 「維新の洋画家—川村清雄」 ②展覧会のみどころ—河村清雄とゆかりの人びとを中心—	10月18日	落合則子	72
	江戸東京博物館開館20周年記念特別展 「維新の洋画家—川村清雄」 ③ヴェネツィアの川村清雄 その留学生活と作品への影響について	11月1日	※石井元章	63
	江戸東京博物館開館20周年記念特別展 「維新の洋画家—川村清雄」 ④江戸城御庭番	11月16日	※深井雅海	170

	企画展「徳川家康の肖像－江戸時代の人々の家康観－」①徳川家康を語る	10月12日	※徳川恒孝・竹内誠	267
	企画展「徳川家康の肖像－江戸時代の人々の家康観－」②「徳川家康像」と小野通女の画業	10月19日	※中村玲	162
	企画展「徳川家康の肖像－江戸時代の人々の家康観－」③久能山東照宮所蔵の神宝装束と家康像	10月26日	※田中潤	179
	企画展「徳川家康の肖像－江戸時代の人々の家康観－」④人として、神として－東照大権現像の諸相	11月2日	※松島仁	170
	企画展「浮世絵の中の忠臣蔵－錦絵にみる江戸の人々が憧れたヒーロー－」  覧会のみどころ	12月19日	小山周子	110
江戸と東京を学ぶ	江戸東京人物列伝①徳川吉宗－将軍になるまで	11月8日	近松鴻二	277
	江戸東京人物列伝②小栗忠順－純粋な幕臣	11月15日	近松鴻二	254
	江戸人物列伝③山岡高歩(鉄舟)と益満休之助－江戸無血開城へ	11月29日	近松鴻二	256
	江戸東京人物列伝④大久保利通と前島密－東京奠都へ	12月6日	近松鴻二	253
	江戸東京人物列伝⑤西郷隆盛－強硬論の裏で	12月13日	近松鴻二	265
	江戸東京の町とたてもの スペシャル 都市・建築をめぐる10大事件	12月15日	※藤森照信・米山勇	77
	江戸東京の町とたてもの7 もはや戦後ではない	10月6日	米山勇	169
たてもの園セミナー	徳川将軍家の供養－燈籠・石塔・葬儀の建築 ①徳川将軍霊廟の奉献燈籠	12月7日	※石神裕之	115
	徳川将軍家の供養－燈籠・石塔・葬儀の建築 ②供養塔としての石塔－歴史・信仰・構造－	12月7日	※本間岳人	
	徳川将軍家の供養－燈籠・石塔・葬儀の建築 ③徳川将軍家の葬儀のための建築	12月7日	※天木詠子	

(4) 新春期カルチャー 計25講座

※外部講師

	講座名	開催日	講師	参加人数
座 展 覧 会 関 連 講	江戸東京博物館開館20周年記念特別展 「尾張徳川家の至宝」 ①尾張徳川家伝来の什宝と管理	1月24日	※原史彦	186
	江戸東京博物館開館20周年記念特別展 「尾張徳川家の至宝」	1月31日	※四辻秀紀	253

	②千年の時空をこえて—国宝・源氏物語絵巻の世界—			
	企画展「雑誌に見る東京の20世紀—館蔵資料紹介—」 展のみどころ	3月8日	行吉正一	55
	企画展「笑う門には福来る」展のみどころ	1月15日	吉田奈緒子	50
江戸と東京を学ぶ	描かれた都市・江戸 ⑤徳川将軍家儀礼の風景—日吉山王社参詣図・日光東照宮参詣図屏風 AM	1月10日	小澤弘	78
	描かれた都市・江戸 ⑤徳川将軍家儀礼の風景—日吉山王社参詣図・日光東照宮参詣図屏風 PM	1月10日	小澤弘	122
	描かれた都市・江戸 ⑥街並みと水辺の風景—江戸風俗図巻・隅田川兩岸一覽・熙代勝覽— AM	1月17日	小澤弘	94
	描かれた都市・江戸 ⑥街並みと水辺の風景—江戸風俗図巻・隅田川兩岸一覽・熙代勝覽— PM	1月17日	小澤弘	133
	都市歴史研究室シンポジウム「隅田川と本所・向島—開発と観光—」関連講座 東京を大洪水から守った技師・青山士の生涯 ①キリスト教入信、パナマ運河工事参加、荒川放水路開削	2月5日	※高崎哲郎	129
	都市歴史研究室シンポジウム「隅田川と本所・向島—開発と観光—」関連講座 東京を大洪水から守った技師・青山士の生涯 ②信濃川・大河津分水修復、土木技師の倫理綱領、聖書と晩年	2月13日	※高崎哲郎	103
	シーボルトと日本—日出ずる国に魅せられた男— ①日本コレクションの形成	2月15日	小林淳一	199
	シーボルトと日本—日出ずる国に魅せられた男— ②日本博物館の構想	3月1日	小林淳一	184
	詩の東京—銀座をうたった詩—	3月13日	行吉正一	59
古文書講座	旅の古文書① AM	2月14日	※北原進	81
	旅の古文書① PM	2月14日	※北原進	80
	旅の古文書② AM	2月21日	※北原進	83
	旅の古文書② PM	2月21日	※北原進	80

旅の古文書③ AM	2月28日	※北原進	75
旅の古文書③ PM	2月28日	※北原進	75
旅の古文書④ AM	3月7日	※北原進	75
旅の古文書④ PM	3月7日	※北原進	77
旅の古文書⑤ AM	3月14日	※北原進	76
旅の古文書⑤ PM	3月14日	※北原進	71
旅の古文書⑥ AM	3月21日	※北原進	78
旅の古文書⑥ PM	3月21日	※北原進	71

## 2 伝統芸能フォーラム

伝統芸術の発展と継承を目指し、多くの都民が伝統芸能に親しむ機会を提供するため、特別展「ザ・タワー」展と連携した寄席、能楽公演、新春寄席を実施した。

### (1) 「えどはくタワー寄席！～高らかに笑いましょう！～」

期 日 平成24年5月5日（土・祝）  
 会 場 江戸東京博物館 1階ホール  
 主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館  
 内 容 東京スカイツリー完成記念特別展「ザ・タワー～都市と塔のものがたり～」の関連企画。タワーにまつわるトークコーナーや、コラボレーション企画など、バラエティに富んだ笑いを繰り広げた。

出演：柳家喬太郎、寒空はだか、パクンマクン、えどはくタワーズ、  
 （歌）尾引浩志・森下真樹・森下愛、ギボちゃん（江戸博キャラクター）

入場料 3,500円

参加者数 184人

### (2) 「能楽公演」公益財団法人能楽協会の企画制作による観世流「隅田川」の公演

期 日 平成24年11月23日（金・祝）  
 会 場 江戸東京博物館 1階ホール  
 主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館  
 内 容 業平から世阿弥元雅へ～伊勢物語に綴られる隅田川～

第一部 解説・謡体験

第二部 能 観世流 「隅田川」

出演：鶴澤 久、森 常好、柿原崇志、鶴澤洋太郎、槻宅 聡、伊藤嘉章、  
 山本順之

入場料 2,000円



参加者数 354人

- (3) 「えどはく初春寄席～笑っておめでとう！2013～」
- |      |  |
|------|--|
| 期 日  | 平成 25 年 1 月 3 日（木）、4 日（金）                                    |
| 会 場  | 江戸東京博物館 1 階ホール   |
| 主 催  | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館                                   |
| 内 容  | 江戸前の古典落語を楽しめる、お正月の特別寄席を企画した。<br>出演：柳亭市馬、柳亭市江、入船亭扇辰、江戸家猫八、ナイツ |
| 入場料  | 3,000 円  |
| 参加者数 | 674 人  |

### 3 江戸東京博物館開館 20 周年記念事業

平成 25 年 3 月 23 日～29 日に 20 周年記念の様々なイベントを実施することにより、多くの都民に来館していただき、当館ならではの祝祭空間を生み出した。

#### (1) 本館

- ① 落語公演「江戸の人情・笑いと涙」（1 階ホール）  
3 月 23 日（土） 参加者数：371 名
- ② 常設展夜間イベント「松尾貴史さんと楽しむ 江戸の遊び」（5・6 階常設展示室）  
3 月 23 日（土） 参加者数：400 名
- ③ 歌舞伎舞踊公演「花江戸四季色彩」（1 階ホール）  
3 月 24 日（日） 参加者数：263 名
- ④ 映画上映会「昭和の名作映画復活上映」（1 階ホール）  
3 月 26 日（火）・27 日（水） 参加者数：176 名
- ⑤ 記念シンポジウム「文化と観光に関する国際シンポジウム～江戸と遊ぶ東京へ」  
（1 階ホール）  
3 月 28 日（木） 参加者数：192 名
- ⑥ 記念レセプション（1 階会議室）  
3 月 28 日（木） 参加者数：105 名
- ⑦ 3 月 28 日（開館記念日）常設展示室 観覧料無料 常設展観覧者数 4,296 人
- ⑧ 特別展ポスター展「江戸東京博物館の歩み」（5 階常設展示室）  
3 月 19 日（火）～31 日（日）
- ⑨ クイズラリー

#### (2) 分館

- ① 開園 20 周年記念シンポジウム  
3 月 23 日（土） 参加者数 86 人
- ② 開園 20 周年記念イベント 「大田楽」等 9 事業  
3 月 23 日（土）～29 日（金） 入園者数 22,713 人
- ③ 3 月 28 日（開園記念日）入園料無料 入園者数 11,340 人

#### 4 国際交流事業

平成14年度から、東京都江戸東京博物館と中国・北京首都博物館、韓国・ソウル市歴史博物館、中国・瀋陽故宮博物院（平成18年度より参加）の4館で輪番制とし、シンポジウムを巡回開催。首都における歴史博物館の交流の一環として毎年国際シンポジウムを開催している。平成24年度も中国・瀋陽故宮博物院で開催の予定であったが、諸事情により中止となった。

#### 5 えどはく寄席

日 程 前年度までの毎週土日祝日で1日2回の開催から変更し、来館者の繁忙期に合せ、期日を区切り、それぞれに新緑寄席・向日葵寄席・紅葉寄席・伝統芸能ウィーク・正月寄席・開館記念寄席と題して集中した日程とした。1日の回数も2回から4回へと幅を持たせた開催とした。

客 数 65,933人（うち「秋の伝統芸能ウィーク」7,490人、「正月の催し」5,746人）  
 内 容 伝統芸能の継承・普及及び常設展示室の賑わいの演出を目的に、常設展示室5階中村座前で、落語、漫才、紙切り、かつぼれ、太神楽、邦楽、ジャグリング、曲芸などを実演した。内容についても新緑寄席ではファミリー向けの太神楽やジャグリングなどを中心とした構成とし、紅葉寄席では芸術の秋に合わせて落語などじっくり聞かせる演目とするなど、時期に応じた内容とした。さらに今年度も、11月と12月の平日に学校団体の児童・生徒へ向けた「秋の伝統芸能ウィーク」を実施し、事業の充実を図った。正月には箏曲演奏、からくりの実演、獅子舞など正月らしい催しや公式マスコットキャラクター「ギボちゃん」との記念撮影などを実施した。さらに、江戸時代の人々の姿に扮したパフォーマーが展示室内を歩く「江戸博ぶらぶらプロジェクト」を3回にわたり実施した。

[実績一覧] 日付の前、無印は通常のえどはく寄席、★印は正月の催し、☆印は伝統芸能ウィークを各々表す。なおぶらぶらプロジェクトについては、常設展示室内全域で行われるパフォーマンスのため、以下の一覧には含まない。詳細は表下の※参照

日 付	演 目	出 演 者	観客数
4月14日(土)	江戸芸かつぼれ	桜川びん助社中	679
4月28日(土)	落語/太神楽	桂歌助/鏡味正二郎	502
4月29日(日・祝)	落語/曲独楽	山遊亭金太郎/やなぎ南玉	674
4月30日(月・休)	ジャグリング/太神楽	KAZUHO/鏡味初音	1,065
5月1日(火)	ジャグリング/太神楽	鈴木拓也/鏡味初音	580
5月2日(水)	ジャグリング/太神楽	KAZUHO/鏡味初音	892
5月3日(木・祝)	ジャグリング/太神楽	KAZUHO/鏡味初音	1,352
5月4日(金・祝)	ジャグリング/太神楽	鈴木拓也/鏡味初音	1,414
5月5日(土・祝)	ステールパン	パン・ノートマジック	809
5月6日(日)	ステールパン	パン・ノートマジック	767
5月12日(土)	邦楽(三味線/尺八)	山中裕史/菊地良則	370
5月13日(日)	邦楽(津軽三味線/尺八)	白田路明/田嶋謙一	506
5月19日(土)	動物ものまね/太神楽	江戸家まねき猫/ボンボン ブラザース	514
5月20日(日)	太神楽/紙切り	鏡味千代/林家今丸	576

5月26日(土)	邦楽(箏/尺八)	伊藤江里菜/辻本好美	390
5月27日(日)	邦楽(箏/尺八)	衣袋聖志/神永大輔	466
6月9日(土)	江戸芸かっぱれ	桜川びん助社中	562
7月14日(土)	太神楽	翁家小花	1,034
7月15日(日)	ジャグリング	三雲いおり	1,408
7月16日(月・祝)	マジック	伊藤夢葉	973
7月21日(土)	落語/俗曲	三遊亭小円楽/春風亭美由紀	619
7月22日(日)	邦楽(箏/尺八)	衣袋聖志/神永大輔	416
7月28日(土)	講談/マジック	一龍齋貞山/北見翼	918
7月29日(日)	邦楽(尺八/三味線)	菊地良則/山中裕史	613
8月4日(土)	落語/ヴァイオリン漫談	三遊亭春馬/マグナム小林	665
8月5日(日)	三味線/尺八	白田路明/田嶋謙一	677
8月11日(土)	太神楽	鏡味初音	1,030
8月12日(日)	ジャグリング	ブーリー・ウーリー・カパニ	1,016
8月14日(火)	玉すだれ	橘家竹蔵	1,329
8月15日(水)	マジック	モンブラン	1,174
8月16日(木)	太神楽	菊仙・花仙	1,052
8月17日(金)	クラウンショー	かっちゃん	752
8月18日(土)	江戸売り声	宮田章司	803
8月19日(日)	マジック	モンブラン	929
8月25日(土)	太神楽	鏡味仙三	981
8月26日(日)	アクロバット	サブリミット	1,164
9月1日(土)	太神楽	鏡味初音	898
9月2日(日)	マジック	ジン・マサフスキー	1,007
9月8日(土)	江戸芸かっぱれ	桜川びん助社中	679
9月15日(土)	邦楽(尺八/箏)	神永大輔/衣袋聖志	607
9月16日(日)	マジック	モンブラン	1,131
9月17日(月・祝)	邦楽(箏)	吉崎明日佳/谷富愛美	798
9月22日(土・祝)	落語/太神楽	土橋亭里う馬/鏡味千代	922
9月23日(日)	クラウンショー	かっちゃん	783
9月29日(土)	邦楽(三味線)	白田路明/ピエール小野	698
9月30日(日)	アクロバット	サブリミット	728
10月6日(土)	落語/紙切り	桂歌助/林家今丸	629
10月7日(日)	太神楽	鏡味仙三	1,305
10月8日(月・祝)	邦楽(尺八/箏)	神永大輔/衣袋聖志	472
10月13日(土)	邦楽(尺八/三味線)	菊地良則/山中裕史	558
10月14日(日)	コメディショー	じ〜によ	612
10月20日(土)	落語/曲独楽	三遊亭王楽/やなぎ南玉	708
10月21日(日)	太神楽	翁家小花	725
10月27日(土)	邦楽(尺八/三味線)	菊地良則/山中裕史	649
10月28日(日)	クラウンショー	ユースケ	956
11月3日	落語/太神楽	桂南なん/鏡味正二郎	739
11月4日(日)	邦楽(箏)	吉崎明日佳/谷富愛美	419
☆11月6日(火)	邦楽(津軽三味線・箏・尺八)	結(端智恵・柿木原こう・辻本好美)	386
☆11月7日(水)	邦楽(尺八)	田嶋謙一・大河内淳也・川村葵山	512

☆11月8日(木)	邦楽(尺八)	田嶋謙一・大河内淳也・川村葵山	470
☆11月9日(金)	邦楽(津軽三味線・箏・尺八)	結(埴智恵・柿木原こう・辻本好美)	307
☆11月10日(土)	江戸芸かっぽれ	桜川びん助社中	524
☆11月13日(火)	落語	山遊亭金太郎	236
☆11月14日(水)	落語	桂小文治	300
☆11月15日(木)	落語	山遊亭金太郎	234
☆11月16日(金)	落語	立川談幸	219
11月23日(金・祝)	落語	桂伸治	517
11月24日(土)	邦楽(津軽三味線・箏・尺八)	結(埴智恵・柿木原こう・辻本好美)	415
11月25日(日)	落語	桂伸治	388
☆11月27日(火)	邦楽(和太鼓)	ひむかし	658
☆11月28日(水)	邦楽(和太鼓・津軽三味線・尺八)	斬月(Ajo. 橋口隆之, 白田路明, 中村仁樹)	769
☆11月29日(木)	邦楽(和太鼓・津軽三味線・尺八)	斬月(Ajo. 橋口隆之, 白田路明, 中村仁樹)	327
☆11月30日(金)	邦楽(和太鼓・津軽三味線・尺八)	斬月(Ajo. 橋口隆之, 白田路明, 中村仁樹)	596
☆12月4日(火)	落語	桂伸治	315
☆12月5日(水)	落語	立川談幸	226
☆12月6日(木)	落語	立川談幸	314
☆12月7日(金)	落語	山遊亭金太郎	301
12月8日(土)	江戸芸かっぽれ	桜川びん助社中	444
★1月2日(水)	からくり	夢からくり一座	1,743
★1月3日(木)	からくり	夢からくり一座	1,805
★1月4日(金)	からくり	夢からくり一座	737
★1月5日(土)	からくり	夢からくり一座	860
★1月6日(日)	からくり	夢からくり一座	601
1月12日(土)	落語/動物ものまね	春雨や雷蔵/江戸家まねき猫	447
1月13日(日)	落語/太神楽	柳家蝠丸/ボンボンブラザース	712
1月14日(月・祝)	落語/音曲	三笑亭夢花/松乃家扇鶴	368
2月9日(土)	江戸芸かっぽれ	桜川びん助社中	532
3月9日(土)	江戸芸かっぽれ	桜川びん助社中	464
3月23日(土)	太神楽/紙切り	鏡味味千代/林家今丸	403
3月24日(日)	尺八/三味線	田嶋謙一/白田路明	521
3月28日(木)	落語	三遊亭遊吉	953
3月29日(金)	落語	三遊亭円丸	407
3月30日(土)	邦楽(箏)	明日佳/谷富愛美	487
3月31日(日)	和妻/ヴァイオリン漫談	北見翼/マグナム小林	741

※平成24年度 「江戸博ぶらぶらプロジェクト」

1回目 6月16日・17日 江戸の町人

- ・江戸東京博物館で開催中の特別展「日本橋展」と企画連携し、日本橋での魚売りなどを演出した。

2回目 8月18日・19日 江戸の夏

- ・お盆時期ということで、水売りや茶屋の娘など涼をテーマにした内容で実施した。

3回目 1月2日・3日 江戸の町人 正月

- ・冬の江戸の町並みをコンセプトとし、宝船売りや年始参りの御家人といった正月のイメージを演出した。

6 ふれあい体験教室

ふれあいボランティアが企画・運営する伝統的な文化や芸能の体験型事業や、高齢者や子供を対象とした参加型事業を実施した。

ふれあい体験教室実施数 68件

ふれあい体験教室参加者数 3,142人

[実績一覧]

日程	内容	人数
4月14日	和算のひみつ	28
4月21日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	147
4月28日	ときめきキモノ体験	19
4月28日	藍染体験（両国にぎわい祭り）	50
4月28日	みんなで遊ぼう！昔遊び（両国にぎわい祭り）	170
4月29日	祭り茶席（両国にぎわい祭り）	41
4月29日	万華鏡をつくろう（両国にぎわい祭り）	50
4月29日	歴史散歩「広重の江戸名所百景（両国）」（両国にぎわい祭り）	26
5月21日	和算のひみつ	71
5月13日	ときめきキモノ体験	40
5月19日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	170
5月19日	扇子遊びをしよう	30
5月26日	歴史散歩「西片と本郷の史跡散歩」	17
6月16日	和算のひみつ	44
6月23日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	120
6月24日	万華鏡をつくろう	35
7月8日	ときめきユカタ体験	30
7月21日	和算のひみつ	54
7月26日	江戸切子体験	18
7月27日	江戸切子体験	25
7月28日	藍の生葉染め体験	13
7月28日	歌舞伎の化粧をしてみよう	8
7月28日	ときめきユカタ体験	50
8月4日	和算のひみつ	71
8月5日	ときめきユカタ体験	37
8月18日	ぎやまん彫りに挑戦しよう	21
8月18日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	85
8月19日	浮世絵摺り体験	24
8月25日	ときめきユカタ体験	18
8月25日	親子工作教室「オリジナル影絵を作ろう！」	32
8月26日	万華鏡をつくろう	46
9月15日	和算のひみつ	34
9月22日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	140
9月22日	扇子遊びをしよう	40

9月29日	歴史散歩「日本橋界限」	17
9月29日	うぐいす笛を作ってみよう！	35
9月30日	藍染め体験	33
10月13日	和算のひみつ	30
10月20日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	120
10月21日	神無月体験茶席	45
10月27日	ときめきキモノ体験	22
11月3日	歴史散歩「芝・三田界隈増上寺散歩」	20
11月3日	歌舞伎の化粧をしてみよう（大人向け）	14
11月10日	和算のひみつ	42
11月17日	8枚の羽根の風車を作ろう	37
11月25日	ときめきキモノ体験	27
12月1日	ぼち袋を摺ろう	25
12月15日	和算のひみつ	25
12月16日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	27
12月16日	扇子遊びをしよう	18
12月16日	師走体験茶席	36
1月12日	和算のひみつ	100
1月19日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	90
1月26日	ときめきキモノ体験	25
1月26日	睦月体験茶席	41
1月27日	万華鏡をつくろう	31
2月3日	節分の鬼をつくろう	45
2月16日	歌舞伎の鳴り物をならしてみよう	110
2月16日	扇子遊びをしよう	29
2月17日	ときめきキモノ体験	26
3月2日	歌舞伎の化粧をしてみよう（大人向け）	19
3月2日	浮世絵を組み立てよう	24
3月9日	弥生体験茶席	40
2月23日	歴史散歩「神田上水と江戸の庭園（武家屋敷）を歩こう」	17
2月23日	ときめきキモノ体験	18
2月23日	反古紙で折る小物－江戸のエコロジーを見習おう－	30
3月23日	和算のひみつ	21
3月31日	ぎやまん彫りに挑戦しよう	19
	合計 68件	3,142

## 7 ミュージアムトーク

日 時 毎週金曜日の16時～16時30分

回 数 計51回

参加者数 1,601人

学芸員による展示解説。企画展や特集展示などの特別企画の他、常設展示各コーナーにおける展示内容を詳しく紹介した。

[実績一覧]

日時	担当	コーナー・テーマ	人数
4月6日	眞下祥幸	総城下町江戸	26
4月13日	眞下祥幸	総城下町江戸	30
4月20日	斎藤慎一	企画展「芝 増上寺～秀忠とお江の寺」みどころ	36
4月27日	斎藤慎一	企画展「芝 増上寺～秀忠とお江の寺」みどころ	42
5月4日	松井かおる	特集展示「太陽の塔 黄金の顔」みどころ	17
5月11日	松井かおる	特集展示「太陽の塔 黄金の顔」みどころ	21
5月18日	小山周子	文明開化東京	26
5月25日	小山周子	文明開化東京	15
6月1日	丸山はるか	芝居と遊里	27
6月8日	丸山はるか	芝居と遊里	19
6月15日	吉田奈緒子	町の暮らし	23
6月22日	吉田奈緒子	町の暮らし	24
6月29日	橋本由起子	市民文化と娯楽	20
7月6日	橋本由起子	市民文化と娯楽	16
7月13日	斉藤進（埋蔵文化財センター）	企画展「発掘された日本列島2012」地域展みどころ	45
7月20日	大八木謙司（埋蔵文化財センター）	企画展「発掘された日本列島2012」地域展みどころ	40
7月27日	石山秀和	町の暮らし	36
8月3日	石山秀和	町の暮らし	37
8月10日	杓沢博行	モダン東京	17
8月17日	杓沢博行	モダン東京	12
8月24日	西村直子	企画展「市民からのおくりもの2012」みどころ	21
8月31日	杓沢博行	企画展「市民からのおくりもの2012」みどころ	17
9月7日	行吉正一	企画展「市民からのおくりもの2012」みどころ	19
9月14日	行吉正一	企画展「市民からのおくりもの2012」みどころ	11
9月21日	阿部由紀洋	関東大震災	19
9月28日	阿部由紀洋	関東大震災	17
10月5日	石山秀和	町の暮らし	29
10月12日	石山秀和	町の暮らし	39
10月19日	中村玲（筑波大学日本美術史研究室研究員）	企画展「徳川家康の肖像」みどころ	50
10月26日	田中潤（学習院大学文学部史学科助教）	企画展「徳川家康の肖像」みどころ	77
11月2日	松島仁（『國華』編集委員）	企画展「徳川家康の肖像」みどころ	52
11月9日	田原昇	江戸城と町割り	21

11月16日	田原昇	江戸城と町割り	35
11月23日	眞下祥幸	企画展「徳川家康の肖像」みどころ	44
11月30日	丸山はるか	江戸の四季と盛り場	16
12月7日	丸山はるか	江戸の四季と盛り場	18
12月14日	小山周子	企画展「浮世絵の中の忠臣蔵—江戸っ子が憧れたヒーロー」みどころ	30
12月21日	小山周子	企画展「浮世絵の中の忠臣蔵—江戸っ子が憧れたヒーロー」みどころ	26
1月4日	吉田奈緒子	企画展「笑う門には福来る」みどころ	29
1月11日	吉田奈緒子	企画展「笑う門には福来る」みどころ	28
1月18日	眞下祥幸	江戸と結ぶ島と村	20
1月25日	眞下祥幸	江戸と結ぶ島と村	15
2月1日	田原昇	江戸城と町割り	28
2月8日	田原昇	江戸城と町割り	26
2月15日	行吉正一	企画展「雑誌にみる東京の20世紀」みどころ	25
2月22日	江里口友子	開館20周年特別公開 特集展示「広重・東海道五拾三次」展みどころ	82
3月1日	橋本由起子	市民文化と娯楽	16
3月8日	橋本由起子	市民文化と娯楽	30
3月15日	阿部由紀洋	東京大空襲	25
3月22日	小山周子	開館20周年特別公開 特集展示「全部見せます 北斎・富嶽三十六景」展みどころ	96
3月29日	小山周子	開館20周年特別公開 特集展示「全部見せます 北斎・富嶽三十六景」展みどころ	111

## 8 ワークショップ

常設展示5階体験コーナーにおいて、企画展や特別展に関連したワークショップを実施し、教育普及事業の充実を図った。

### ① 企画展「発掘された日本列島 2012」関連ワークショップ 縄文土器の文様をつけよう！

日 時 平成24年6月30日(土)、7月22日(日) (1回目) 11:00~12:00 (2回目)  
(3回目) 13:30~14:30

③14:30~15:30

内 容 縄文土器につけられた文様を、様々な道具を使って粘土につけてオリジナルのペン立てを作った。完成品は来館記念としてお持ち帰りいただいた。

対 象 小学1年生以上~一般(当日申し込み)

定 員 各回20名 合計60名

参加人数 47名(6月30日)、55名(7月22日)

参加費 無料

### ② 企画展「市民からのおくりもの 2012」関連ワークショップ 博物館の仕事を体験してみよう

日 時 平成24年8月9日(木) (1回目) 11:00~12:00 (2回目) 13:30~14:30 (3回目) 14:30~15:30

内 容 寄贈された資料が博物館に展示されるまでの流れを学ぶことを目的に実施した。2人1組のペアで、参加者のお互いの持ち物について、聞き取りをしながら、資料情報カードを書き、学芸員の仕事の一部を体験していただいた。ワー



クシートに答えながら、資料の収集、管理、保存について学び、資料が展示されるまでの流れを知る。

対 象 小学4年生以上～一般（当日申し込み）

定 員 各回10組 合計30名

参加人数 19名(8組)

参加費 無料

③ 企画展「徳川家康の肖像」展関連ワークショップ 岩絵の具でぬり絵をしよう

日 時 平成24年11月18日（日）（1回目）11:00～11:40（2回目）13:30～14:10

内 容 岩絵の具は、鉱物を砕き粉末状にしたもので、粒子の大きさにより色調の濃淡が異なる。原石と絵の具の比較をおこない、実際に原石から岩絵の具を作る作業を、簡易式のキット（乳鉢、すり棒、原石を砕いた粉末）を用い導入に体験をしていただいた。下絵（輪郭線）が描かれた紙に、手作りの岩絵の具と、用意した岩絵の具を膠（にかわ）で溶かし着色した。下絵は4種類用意し、好きなものを参加者に選んでもらった。完成した作品は表具調の台紙に貼り、お持ち帰りいただいた。

対 象 小学3年生から一般

定 員 各回15名 合計30名

参加人数 30名

受 付 当日受付（予約不要、先着順）

参加費 無料

④ 企画展「笑う門には福来る」展関連ワークショップ 新春初笑い！書初め体験

日 時 平成25年1月2日（水）、3日（木）（正月無料開館日）書初め体験 11:00～15:00、パフォーマンス書道（1回目）12:00～12:20（2回目）14:00～14:20

内 容 日本の伝統行事である書初めを楽しんでいただき、書に親しむ機会を提供した。企画展にちなんだ「笑」や「福」などの言葉を参加者に書いていただいた。一人2枚書き、そのうちの1枚を館内に展示し、もう1枚は記念に持ち帰ってもらった。また、メッセージ書きコーナーを設け、全紙の中央に干支やお正月に関する字を書いておき、来館者に今年の目標や抱負・メッセージなど書いてもらった。メッセージでいっぱいになったものは展示をした。パフォーマンス書道では、大東文化大学文学部書道学科の学生スタッフによる揮毫を行った。

参加人数 422名(1月2日)、398名(1月3日)

受 付 当日受付（予約不要、先着順）

参加費 無料

⑤ 企画展「浮世絵の中の忠臣蔵—江戸っ子が憧れたヒーロー—」展関連ワークショップ 組上絵で遊んでみよう

日 時 平成25年1月6日（日）（1回目）10:30～11:20（2回目）12:00～12:50（3回目）14:00～14:50

内 容 企画展で展示する「忠臣蔵五段目組上二枚続」（歌川芳藤画）から作成した「組上絵キット」を用いて、参加者に江戸から明治にかけて人気のあった組上絵の制作体験の場を提供した。

対 象 小学生から一般

定 員	各回 20 名 合計 60 名
参加人数	58 名
受 付	当日受付（予約不要、先着順）
参加費	無料

## 9 博物館ボランティア

市民とのコミュニケーションを豊かにし、市民の協力や協働のもとに生涯学習社会にふさわしい市民に親しまれる開かれた博物館を目指して館の活性化を図るため、江戸東京博物館（本館）では平成9年10月1日、江戸東京たてもの園（分館）では平成8年12月4日からボランティア制度の試行実施を行った。

本年は、本館276名、分館197名体制により、本館では9,722件のガイド、分館では茅葺き農家燻煙及び団体案内ガイド、自主活動等を行った。

### (1) 本館ボランティア

#### ① 登録人数（平成24年3月31日現在）

展示ガイドボランティア	195名
ふれあいボランティア	81名（この内、展示ガイドとの兼任30名）
合計	276名

#### ② 活動日時

展示ガイド

火曜日～日曜日（開館日） 10時～16時

毎日15人程度のグループで活動

ふれあいスタッフ

9つの班に分かれ、全体で年間60回程度の体験教室を実施

#### ③ 活動内容

日本人及び外国人来館者に対する案内、団体来館者に対する事前案内  
日本語、英語、ドイツ語、中国語、フランス語、ハンガール、スペイン語、ロシア語  
江戸東京の伝統・文化に関するワークショップ（「ふれあい体験教室」）の運営

#### ④ 対応件数（平成23年4月～24年3月）

外国語による案内件数	3,833件
日本語による案内件数	5,711件
団体事前案内件数	54件
スポット解説	124件

#### ⑤ ボランティア対象の研修

研修実施回数	11回
研修参加者数（延べ人数）	506人

### (2) たてもの園ボランティア

#### ① 登録人数（平成25年3月31日現在）

- ・正規ボランティア「ひじろ会」 197名（男性121名、女性76名）  
火曜日班31名、水曜日班28名、木曜日班33名、金曜日班35名、  
土曜日班41名、日曜日班29名

#### ② 活動日時

火曜日～日曜日及び臨時開園日 9時45分～17時（10月から3月は16時まで）

#### ③ 活動内容

- ・正規ボランティア  
茅葺き農家の燻煙と周辺整備…4棟

- (吉野家、八王子千人同心組頭の家、天明家、綱島家)
- 園内ガイド (団体ガイド・定時ガイド・センターガイド・戸別ガイド)
- たてもの園事業への参画 (催事の企画実施、学校連携事業、年中行事等)
- 建物の情景再現としての自主活動 (藁細工、風車づくり、紙芝居、農耕作業等)
- ・臨時ボランティア
  - たてもの園事業への参加協力
  - 土日班を中心とした正規ボランティアの活動支援

④ 対応件数等

茅葺き農家の燻煙と周辺整備 (休園日を除き毎日) 延べ298日

団体案内ガイド 100団体 2,779人

定時ガイド 2,166人

ボランティア自主活動 21項目 784回

⑤ その他

正規ボランティアは11回の勉強会のほか、7月には練馬区、9月には台東区と2回の見学会を企画・実施した。

10 人材の育成

江戸東京の歴史と文化に関わる情報と博物館に対する理解を深めるため、さまざまな研修等を実施し、人材育成を図った。

(1) 学芸員実習の受入れ

将来の博物館を担う人材の育成と、当館の博物館活動の社会還元のために、学芸員資格取得に必要な博物館実習を受け入れた。

申込数 27校

受入者数 20名

期間 平成24年8月20日(月)～8月31日(金)

カリキュラム

	実施日	スケジュール	実施内容	実施形式	担当係
1	8月20日(月)	午前	【オリエンテーション】 展示事業課長挨拶・実習担当者紹介・実習生自己紹介・諸注意、保険料徴収	講義・見学	展示事業係
		午後	【館長挨拶】館長挨拶	講義	展示事業係
			【施設管理】博物館の施設管理・館内案内	講義・見学	管理係
			【広報活動】博物館の広報活動	講義	事業推進係
2	8月21日(火)	午前	【博物館の現状と課題】博物館の現状と課題	講義	展示事業係
			【常設展示】常設展示について	講義	展示事業係
		午後	【教育普及活動】ボランティア、友の会	講義	展示事業係

			【ボランティア活動】ボランティアによる常設展示体験	見学	展示事業係
			【特別展】特別展の概要、見学	講義・見学	展示企画係
3	8月22日（水）	午前	【バックヤード】バックヤード見学	見学	資料係
			【資料管理】資料のクリーニング方法	実習	
		午後	【資料収集】資料の収集	講義	資料係
			【資料管理】資料の管理と修復	講義	資料係
			【収蔵庫】収蔵庫について	講義・見学	資料係
			【展示・広報実習（1）】展示・広報実習の説明	講義	展示事業係
4	8月23日（木）	全日	【展示・広報実習（2）】資料の収集・取扱い （A）情報カードの作成 （B）資料の写真撮影 （C）掛軸、巻子の取り扱い	実習	展示事業係
5	8月24日（金）	午前	【調査・研究活動】都市歴史研究室の活動	講義	都市歴史研究室
			【図書室】図書資料および図書室の運営	講義	
		午後	【展示・広報実習（3）】実習内容（印刷物）説明 基本計画の立案	講義・実習	展示事業係
6	8月27日（月）	午前	【たてもの園】園長挨拶、たてもの園の概要、たてもの園の学芸業務、教育普及事業	講義	たてもの園
		午後	【たてもの園】野外博物館としてのたてもの園 園内建造物の見学と復元2棟の見学・解説	実習	
7	8月28日（火）	午前	【たてもの園】たてもの園とボランティア	講義・見学	たてもの園
		午後	【たてもの園】たてもの園の考古学資料と民俗資料	講義	
			【たてもの園】たてもの園の常設展見学	見学	
8	8月29日（水）	午前	【展示・広報実習（4）】基本計画批評	実習	展示事業係
		午後	【展示・広報実習（5）】基本計画修正、展示準備		
9	8月30日（木）	全日	【展示・広報実習（6）】展示作業、展示の批評、記録撮影	実習	展示事業係
10	8月31日（金）	午前	【展示・広報実習（7）】展覧会チラシ作成	実習	展示事業係
		午後	【展示・広報実習（7）】展覧会チラシ作成、批評	実習	展示事業係

			【学芸員実習のまとめ】 日誌記入・反省会・展示企画課長挨拶	講義	展示事業 係
--	--	--	----------------------------------	----	-----------

## (2) 博学連携

当館の入館者増とリピーターの確保及び平成14年度から実施された完全学校週五日制と「総合的学習」に対応するため、博物館と学校との連携事業を展開した。当館を学習の場として希望する生徒を対象に「訪問学習」を実施した。

### ① 訪問学習の実施

博学ボランティア（7名）による歴史学習への対応

参加人数 167人

参加学校数 25校（小学校 0、中学校 23、高等学校 2、大学 0）

### ② 職場体験の実施

参加人数 28人

参加学校数 12校（中学校）

## (3) インターンの受入れ

将来の文化芸術を支える専門的人材の育成に寄与するとともに、当館事業の一層の充実を図るため、「公益財団法人東京都歴史文化財団インターン受入要綱」に基づき、インターンシップの受け入れを実施した。

期 間 平成24年8月1日（水）～9月30日（日）

受入者数 2名

成 果 ①特集展示「日本映画の青春時代―日活映画100年の歩みから―」（平成24年8月28日（火）～10月8日（月・祝））展示業務補助

②特集展示「渋川春海と江戸時代の暦」（平成24年9月4日（火）～11月11日（日））展示業務補助

## (4) その他の研修受入れ

首都大学東京現場体験型インターンシップ 平成24年9月7日（水）～9日（金）（3名）

## 1.1 その他教育普及事業

文化庁「平成24年度文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）」の交付を受け、下記の事業を実施した。

(1) 観光案内パンフレット「江戸東京博物館のみどころ案内 防災教育編～江戸の人びとの防災に学ぶ」「江戸東京博物館のみどころ案内 環境教育編～江戸の衛生を保った上下水道」の作成

内 容 防災教育、環境教育の観点から博物館の展示を紹介し、それに関連する地域の文化資源等を取り上げた観光案内パンフレットを作成した。

発行部数 各10,000部

(2) 「江戸東京博物館ワークシート（小学校低学年向け）」「江戸東京博物館ワークシート（中学生向け）」の作成

内 容 平成23年度に東京都教育庁と連携して作成したワークシート（小6・高校生対象の2種）を拡充し、小学校低学年・中学生を対象としたワークシートを作成した。

発行部数 各10,000部

(3) 伝統工芸ワークショップ「江戸文字を体験してみよう」(①)、「木目込み鞠を作ってみよう」(②)の実施

内 容 墨田区観光協会等と連携し、墨田区の伝統工芸士によるワークショップを実施した。

①平成25年2月2日(土)、2月9日(土)、②平成25年2月23日(土)、2月24日(日)

参加者 各回定員30名

(4) 教育キット「東京いま・むかしパズル」「飛び出す人口密度地図」「のぞきからくり」「東海道五拾三次すごろく」の制作

内 容 常設展示室内での教育プログラムの充実を図るため、常設展示の展示内容をわかりやすく解説する補助教材を開発した。

(5) イヤホンガイドの充実・多言語化

内 容 常設展示室の展示案内イヤホンガイドの充実・多言語化の試行として、平成23年度に作成したコンテンツ(日本語・英語・中国語・ハンデルによる大型模型解説音声データ)に資料画像を加え、国内外で普及している端末に装備した。

(6) 資料解説・サインの改善

内 容 視覚障害者のバリアフリー化のため、常設展示室内の点字案内サインの見直しを行い、体験型模型に点字サインを取り付けた。

## VIII 施設維持管理・貸出等

### 1 博物館管理運営

東京都江戸東京博物館(本館及び分館)の指定管理者として、館の円滑な管理運営を図るため、各種会議・委員会を開催した。

(1) 東京都江戸東京博物館運営委員会

館の運営及び事業活動について、広い視野から助言を得、適正かつ円滑な館運営に資するため、東京都江戸東京博物館運営委員会を設置している。

○平成24年度第1回東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時 平成24年7月27日(金)14時00分から16時00分まで

場 所 事務棟2階 会議室

- 内 容
- 1 平成23年度事業実績について
  - 2 江戸東京博物館常設展示室リニューアルの検討状況について
  - 3 江戸東京博物館開館20周年事業について
  - 4 その他

○平成24年度第2回東京都江戸東京博物館運営委員会

日 時 平成25年3月21日(金)14時00分から16時00分まで

場 所 事務棟2階 会議室

- 内 容
- 1 東京都江戸東京博物館運営委員会会長の選出について
  - 2 25年度事業計画及び予算について
  - 3 江戸東京博物館の中期的展望について
  - 4 江戸東京博物館常設展示室リニューアルの検討状況について
  - 5 江戸東京博物館開館20周年事業について

○ 東京都江戸東京博物館運営委員会委員（平成25年3月末現在）

委員長 藤 森 照 信（工学院大学教授）  
副委員長 坂 本 光 一（元東京都教育委員会教育長）

委員 市 村 佑 一（江戸川大学学長）  
委員 伊 東 孝（日本大学教授）  
委員 薄 井 和 男（神奈川県立歴史博物館学芸部長）  
委員 熊 倉 功 夫（静岡文化芸術大学学長）  
委員 越 澤 明（北海道大学大学院教授）  
委員 平 川 南（国立民族博物館館長）  
委員 峰 岸 純 夫（首都大学東京名誉教授）  
委員 吉 見 俊 哉（東京大学大学院教授）  
委員 山 本 与志春（青山学院中等部長）  
委員 石 橋 昌 雄（全国小学校社会科研究協議会推薦）

(2) 外部評価委員会

当該年度の事業実績につき、設定目標が効果的に実行されているか館内部において自己評価し、事務改善に結び付けるために内部評価を行うとともに、その内部評価による事業実績報告について、客観的な視点から、検証を行うため外部評価委員会を設置している。

当該年度末までの事業実績を評価の対象とするよう改善をはかり、最終の委員会は年度明けの4月に開催する。

○ 平成24年度東京都江戸東京博物館外部評価委員会

第1回

日時 平成24年7月12日（木）午後2時から午後4時  
場所 事務棟2階 会議室  
内容 1 平成23年度外部評価総合評定について  
2 平成24年度事業計画について

第2回（開催予定）

日時 平成25年4月25日（木）午前10時から午後0時  
場所 事務棟2階 会議室  
内容 平成24年度外部評価 評定について

○ 東京都江戸東京博物館外部評価委員会委員

委員長 段 木 一 行（元法政大学教授）  
委員 松 尾 正 人（中央大学教授・副学長）  
委員 松 田 幸 雄（㈱TBSサービス 常務取締役）  
委員 半 田 昌 之（たばこと塩の博物館学芸部長）  
委員 松 原 良（江戸東京博物館友の会会長）

○ 平成24年度東京都江戸東京たてもの園外部評価委員会

第1回

日時 平成24年6月28日（木）午前10時から午前11時30分  
場所 江戸東京たてもの園 会議室  
内容 1 平成23年度外部評価総合評定について  
2 平成24年度事業計画について

## 第2回

日時 平成25年5月9日（木）午前10時から午前11時30分  
場所 江戸東京たてもの園 会議室  
内容 平成24年度外部評価総合評定について

### ○ 東京都江戸東京たてもの園外部評価委員会委員（平成25年5月現在）

委員長 陣内 秀信（法政大学教授）  
委員 内田 青蔵（神奈川大学教授）  
委員 中島 清文（三鷹の森ジブリ美術館館長）  
委員 西田 剛（小金井市教育委員会生涯学習部長）  
委員 馬場 憲一（法政大学教授）

### (3) コンソーシアム運営協議会

コンソーシアム構成団体間において、館の運営に関する基本事項及び重要事項の協議・決定を行う機関としてコンソーシアム運営協議会を設置し、（公財）東京都歴史文化財団グループの代表団体として、鹿島建物総合管理（株）及びアサヒビール（株）三者間の総合調整を行った。

### ○ 平成24年度コンソーシアム運営協議会

#### 第1回

日時 平成24年7月19日（水）15時00分から16時00分まで  
場所 事務棟2階 会議室  
内容 1 平成23年度運営実績報告及び決算について  
2 平成24年度コンソーシアム運営方針（案）について  
3 平成24年度「東京都江戸東京博物館指定管理者」共同連合体協定書第9条に係る覚書」（案）について  
4 防災対策について  
5 夏季の節電制限について  
6 個人情報の適正管理について

#### 第2回

日時 平成25年3月7日（火）14時から15時まで  
場所 事務棟2階 会議室  
内容 1 平成25年度事業運営方針について  
2 平成25年度休館日について  
3 その他

## 2 本館維持管理

東京都江戸東京博物館の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

また、「東京都江戸東京博物館条例」に基づき、江戸及び東京の歴史と文化の振興に資する講演会、講習会、研究会、鑑賞会等を実施する団体に対し、ホール384件、会議室421件、学習室1 310件、学習室2 321件、企画展示室246件、その他の施設246件を貸出した。

## 3 たてもの園維持管理

江戸東京たてもの園の施設・設備及び物品の維持管理、観覧料等の徴収事務、利用者サービス業務等を行った。

## 4 野外収蔵（庭園保全管理）

江戸東京たてもの園内の庭園保全のため、植栽の維持・管理業務等を行った。



## 5 AVシステムの運営

「館内CATV」「文字ディスプレイ」及び「展示解説システム」により施設・催事案内や常設展示の解説を行うとともに、「映像ホール」「映像ライブラリー」において江戸東京に関連する映像ソフトを提供した。

「映像ホール」では、企画展や季節に合わせた館蔵映像資料のプログラム上映を行った。また、学校団体などへの事前ガイドや視察時の会場、特別展関連講座の会場、えどはくカルチャーの会場として使用した。

### (1) 映像ホール

入場者実績 39,401人

	利用目的	内 容	入場者実績
1	ボランティアガイド	学校団体等に対して、入館前に館の概要等をボランティアより説明・館内の案内映像を放映	3,259人
2	視察対応	外部団体や大学、海外要人・機関等への館概要説明	320人
3	展覧会関連	特別展関連映像の放映や友の会等への展示内容説明	75人
4	えどはくカルチャー	館事業「えどはくカルチャー」会場として利用	0人
5	団体等対応	来館された団体に対して館内の案内映像を当日受付で放映・団体（大人数）のライブラリー作品鑑賞希望に対する対応・その他催事会場として利用	1,154人
6	企画上映	特別展・企画展に関連した映像や季節にふさわしい映像を放映。	34,593人

### (2) 映像ライブラリー

設置ブース数	14台（14人利用可）
映像ソフト数	456タイトル（平成24年3月31日現在）
アクセス回数	14,749回（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

## IX 広報事業

### 1 1 本館

種 別	名 称	実 績
館内案内	江戸東京博物館案内パンフレット	日本語版 397,000部 英語版 70,000部 独語版 6,000部 中国語版（簡体字）12,500部 中国語版（繁体字）6,000部
定期刊行物	江戸東京博物館ニュース	年4回発行 延280,000部
取材対応		469件 ※申請件数に基づき取材対応を行った件数
インターネット ホームページ	日本語版、英語版、中国語版、 ハングル版 キッズサイト	アクセス件数 8,448,942件
メールマガジンの 配信	江戸東京博物館ニューズレター	年12回配信 52,322通
その他の広報	すみだTOWN情報紙アベニュー 「月刊博物館研究」 ソーシャルメディアの活用  公式キャラクター「ギボちゃん」 の活用	年12回掲載（インフォメーション） 年12回掲載 開館10周年記念で制定された公式キャラクター「ギボちゃん」によるツイッターを即時性の高い広報ツールとして活用し、運用方針を決定した。 館内イベントに登場させるだけでなく、「両国にぎわい祭り」、墨田区主催「すみだまつり・子どもまつり」「すみだピンクリボン」「墨田観光まちびらき区民祝賀イベント」など外部イベントでも活動を行った。

### 2 分館

種 別	名 称	実 績
館内案内 ガイド	江戸東京たてもの園 案内リーフレット	157,000部
定期刊行物	たてもの園だより	年2回 延50,000部
	イベント案内	年4回 延372,000部

### 3 読売新聞「江戸博 蔵めぐり」掲載実績

回	掲載日	執筆者	資料名	タイトル
1	4月13日	真下祥幸	FRANK LESLIE'S ILLUSTRATED	サムライ米紙にぎわす

			NEWSPAPER	
2	4月20日	吉田奈緒子	鎮西八郎為朝大明神両国ニテ御開帳子 供御逆之図	疱瘡除け願う大行列
3	4月27日	齋藤慎一	台徳院靈廟奉納銅製燈籠一対	徳川の権勢語る輝き
4	5月11日	小山周子	東京名所図会 ホテル館庭上の図	「和」取り込んだ西洋建築
5	5月25日	我妻直美	東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景	旅の起点 斬新な視点
6	6月1日	丸山はるか	市川団十郎口演 清醒丸引札	歌舞伎役者 広告に一役
7	6月8日	沓沢博行	東京山手急行電鉄路線図	幻の第2「山手線」計画
8	6月22日	我妻直美	日本橋（夜明）	清澄な朝 すっきり美しく
9	6月29日	阿部由紀洋	疎開先で使用したアコーディオン	つらい日々楽しさ添え
10	7月20日	石山秀和	世の中五用心	生活規範 面白く説く
11	7月27日	橋本由起子	東京名所 両国川開き之光景	はじめは「鎮魂の花火」
12	8月24日	西村直子	里すゞめねぐらの仮宿	雀の姿 遊女生き生き
13	9月7日	楯石もも子	日本一ノ画噺	モダンな絵、はやりの装丁
14	9月21日	石山秀和	初学天文指南	星空への興味広げる
15	9月28日	沓沢博行	映画「ふるさと」ポスター	トーキー作品の夜明け
16	10月19日	落合則子	江戸城明渡の帰途（勝海舟江戸開城図）	海舟狙う将官 生々しく
17	10月26日	吉田奈緒子	近世商売尽狂歌合	「稲荷鮎」屋台 庶民に人気
18	11月2日	真下祥幸	東照宮御鎮座之記	家康の亡骸遷座を記録
19	11月16日	田中裕二	川村清雄宛マルティン・リーコ書簡	ジャポニスム 欧州で流行
20	11月23日	落合則子	川村清雄宛徳川家達書簡	「兄」の恋に興味津々
21	11月30日	丸山はるか	十二月之内師走餅つき	女衆の会話聴こえそう
22	12月7日	小山周子	新板浮絵忠臣蔵 第十一段目	吉良家の家臣 最後の奮戦
23	12月21日	吉田奈緒子	七福人宝之入船	幸多き年へ 願い込めて
24	1月18日	小山周子	誠忠義士伝 早野勘平常世	累計 40 万超 ヒットシリーズ
25	1月25日	橋本由起子	凌雲閣機絵双六	明治の「スカイツリー」
26	2月1日	遠藤あかね	風流東姿十二支 巳	華麗で妖艶 まるで蛇
27	2月15日	行吉行一	風俗画報 第412号 水害号 上	洪水の惨状 克明に記録
28	3月1日	江里口友子	東海道五拾三次之内 御油旅人留女	自作 ちゃっかり宣伝
29	3月15日	小山周子	富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見	構図に巧妙な仕掛け
30	3月29日	田原昇	観古図説 城郭之部一	往時の江戸城 写真で残す